

編集後記

「文学論叢」第二三七輯をお届けします。

本輯は、文学部・水落一朗教授、国際コミュニケーション学部・稲垣不二麿教授の退職記念号です。水落先生は九年間、稲垣先生は二十七年間に及ぶ愛知大学での教員生活に終止符を打たれ、今後は様々な雑務から解き放たれて自由な研究生生活を迎えられることと思われます。先生方の長年に亘るご尽力に御礼申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

さて、二〇〇八年も明けて一月十五日、名古屋市が実施していた「ささしまライブ二四地区開発提案競技」に、愛知大学が提案していた名古屋新校舎（ささしまキャンパス）が最優秀提案者として決定したとの連絡があり、その旨が新聞やテレビニュースなどでも報道されました。

ささしまキャンパスには、豊橋校舎から経済学部と国際コミュニケーション学部が、三好の現・名古屋校舎から法学部・経営学部・現代中国学部が移転。さらに新領域の新学部設置も構想中で、学生数九〇〇〇人規模の都市型キャンパスが二〇一二年四月からスタートすることになります。

受験生獲得のため大学が都心回帰を目指すのは時代の趨勢となっており、以上の計画が機関決定された以上、その一員として教育・研究環境の大きな変化にも対処していかなければならないと、年頭に当たって心を新たにしました。

愛知大学文学会にとつても、今年はまだ、こうした大きな変化への対応を求められる年となることでしょう。

（編集委員）

平成二十年二月十五日 印刷
平成二十年二月二十日 発行

編者 愛知大学文学會
代表者 交野正芳

印刷所 豊橋市嵩山町
株式会社 豊橋印刷社

発行所 豊橋市町畑町
愛知大学文学會
振替〇〇八三〇一一四五六五四